

2014年度  
第2四半期  
決算説明会  
2014年11月20日



1. 関西ペイントグループの状況

---

2. 経営成績の概況および予想

---

3. 各分野の状況

---

4. 各地域の状況

---

5. 今年度業績予想について

---

6. 第14次中期経営計画の進捗について

---

2014年度

第2四半期

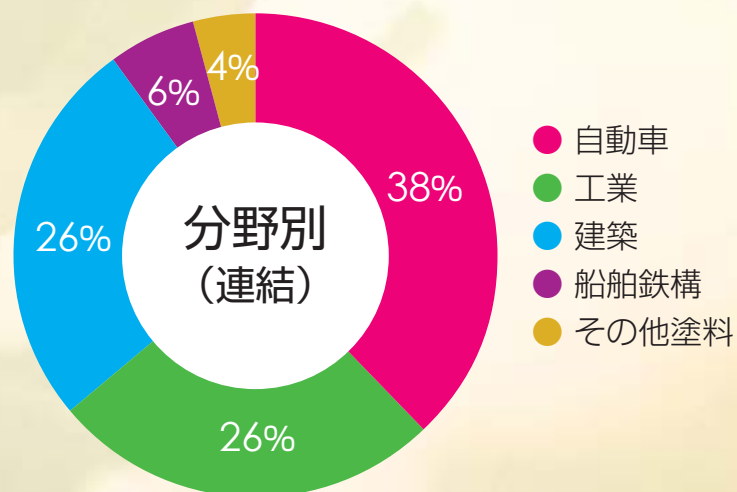
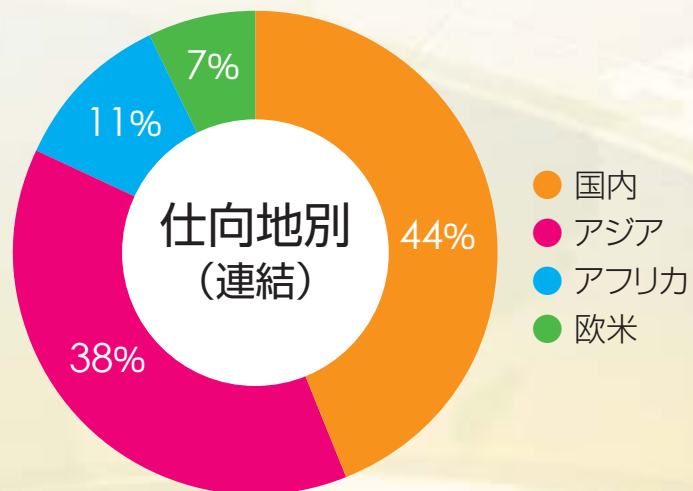
決算説明会

2014年11月20日

# 2013年度 連結売上高 3,204億円

2013年度 単独売上高 1,468億円(国内シェア20%)

設立: 1918年(大正7年)5月  
 資本金: 256億円(2014年9月30日現在)  
 (発行済株式数: 272百万株)  
 従業員数: 12,024名(2014年9月30日現在)



## ■ 主なグループ会社と売上高 ( )内は2012年度 (単位: 億円)

	国内	海外
連 結	関西ペイント販売 (自動車・工業・建築、販売) 1,041 (993)	KNPI(インド) (建築・自動車、製造) 550 (501)
	NKMコーティングス (船舶、販売) 103 (112)	KPAL(南アフリカ) (建築・自動車、製造) 348 (321)
	カンペ商事 (工業、販売) 81 (79)	TKP(タイ) (自動車・工業、製造) 169 (152)
	カンペハピオ (建築、製造) 66 (67)	KABS(トルコ) (自動車・工業、製造) 156 (138)
	他10社	他アジア21社、アフリカ38社、その他3社
持 分 法	扇商会 (自動車・工業、販売) 233 (218)	湖南湘江関西(中国) (自動車、製造) 281 (185)
	エル・ミズホ (工業、販売) 55 (54)	PKAF・US(米) (自動車、販売) 145 (103)
	他14社	中遠関西(上海)(中国) (船舶鉄構、製造) 73 (77) 他アジア10社、アフリカ4社、その他9社

## 2 経営成績の概況および予想

### 連結(業績)

#### ■ 第2四半期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	1,340	1,037	1,204	1,209	1,388	1,547	1,650
経常利益	120	88	135	93	133	169	167

前年度比、増収減益 (売上高: +6.6%、経常利益: ▲0.9%)

#### ■ 通期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	2,299	2,224	2,369	2,565	2,940	3,204	3,500
経常利益	145	226	235	214	283	354	365

### 単独(業績)

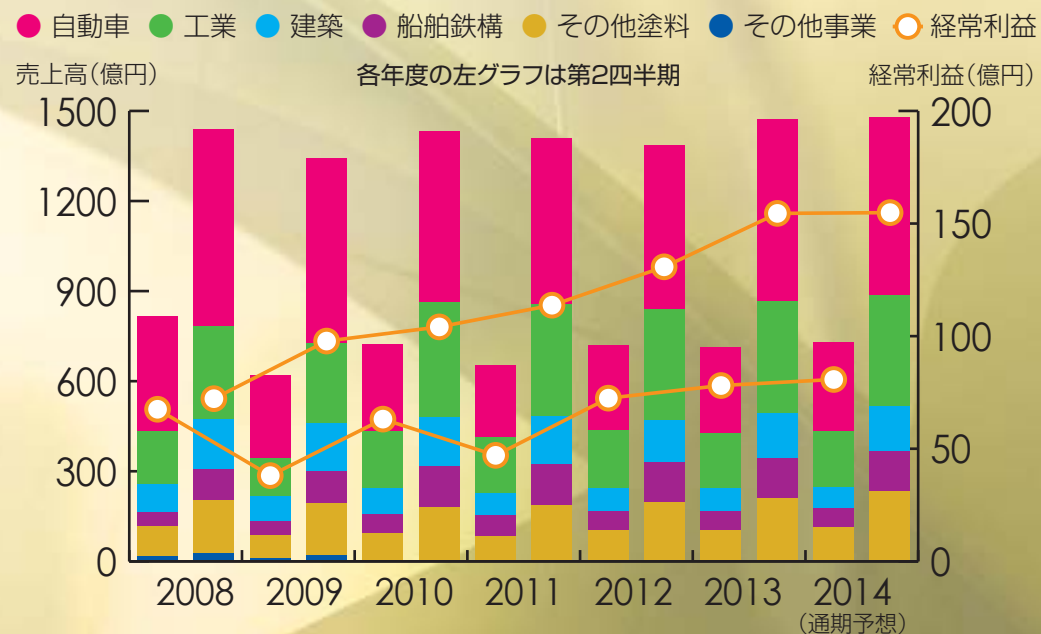
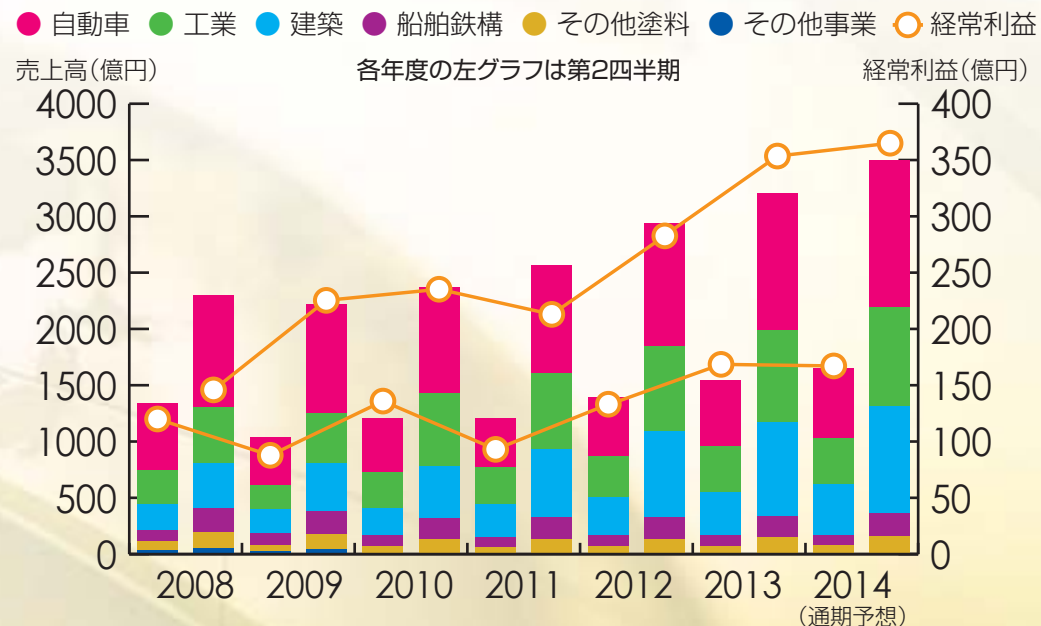
#### ■ 第2四半期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	817	620	723	654	718	713	727
経常利益	67	38	63	47	72	78	81

前年度比、増収増益 (売上高: +2.0%、経常利益: +4.3%)

#### ■ 通期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	1,439	1,340	1,431	1,411	1,386	1,468	1,480
経常利益	72	97	104	113	130	154	155



## ② 経営成績の概況および予想

### 連結 (EBITDA)

#### ■ 第2四半期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	1,340	1,037	1,204	1,209	1,388	1,547	1,650
EBITDA	157	123	171	147	193	258	224

#### ■ 通期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	2,299	2,224	2,369	2,565	2,940	3,204	3,500
EBITDA	241	296	305	346	422	502	487

EBITDAは、税金等調整前純利益から加減算し算出

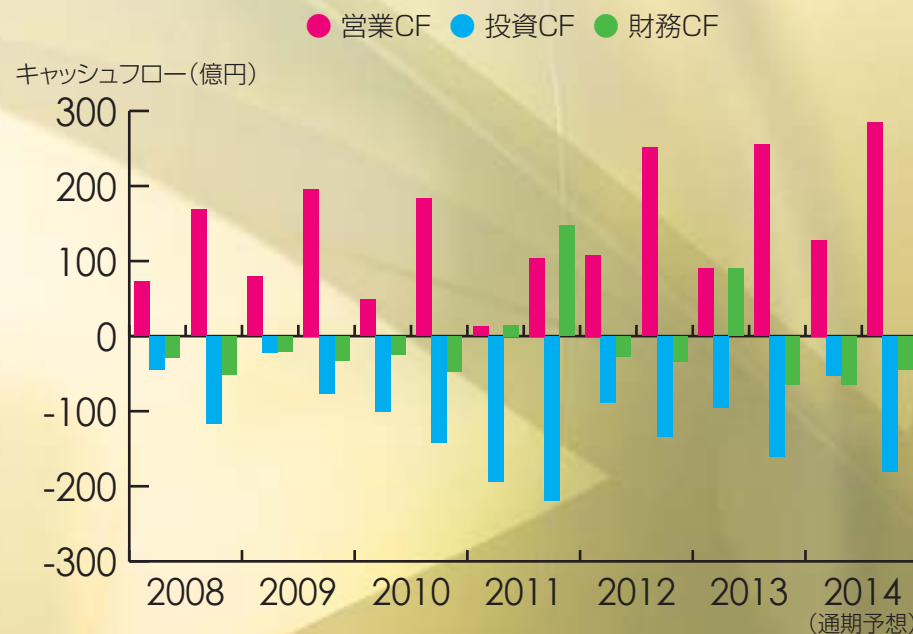
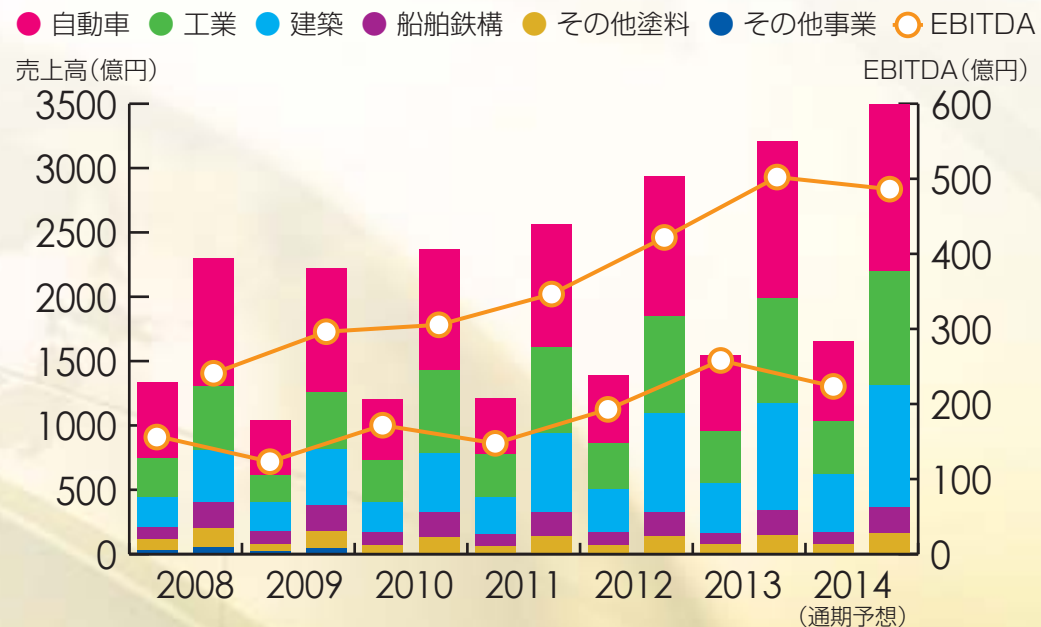
### 連結 (キャッシュフロー)

#### ■ 第2四半期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
営業CF	73	79	49	13	108	90	128
投資CF	-45	-22	-100	-194	-88	-95	-51
財務CF	-28	-21	-25	15	-27	-48	-63

#### ■ 通期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
営業CF	169	196	183	104	251	255	285
投資CF	-116	-77	-142	-219	-134	-161	-180
財務CF	-51	-32	-47	147	-34	-65	-45

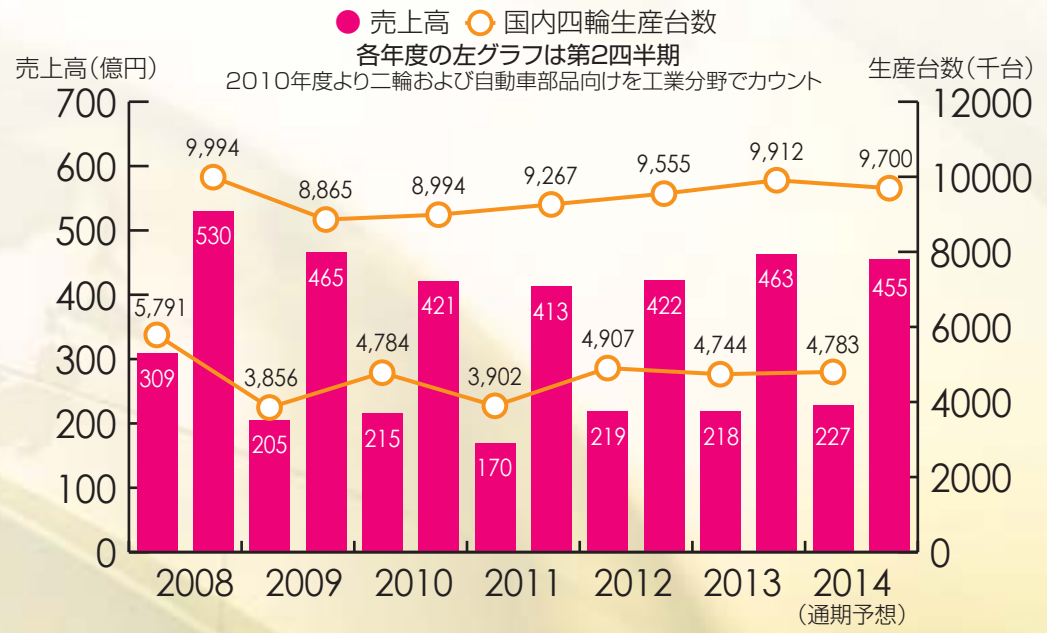




### 国内自動車分野(補修用を除く)

- 消費増税後の影響が懸念されたが、自動車生産台数は前年を上回り前年比増収
- ▷ 年度後半にかけても、自動車生産は堅調に推移するものの、国内自動車生産台数は前年を下回り、売上は前年比減収を見込む
- ▷ 2014年度国内自動車生産台数は970万台を見込む

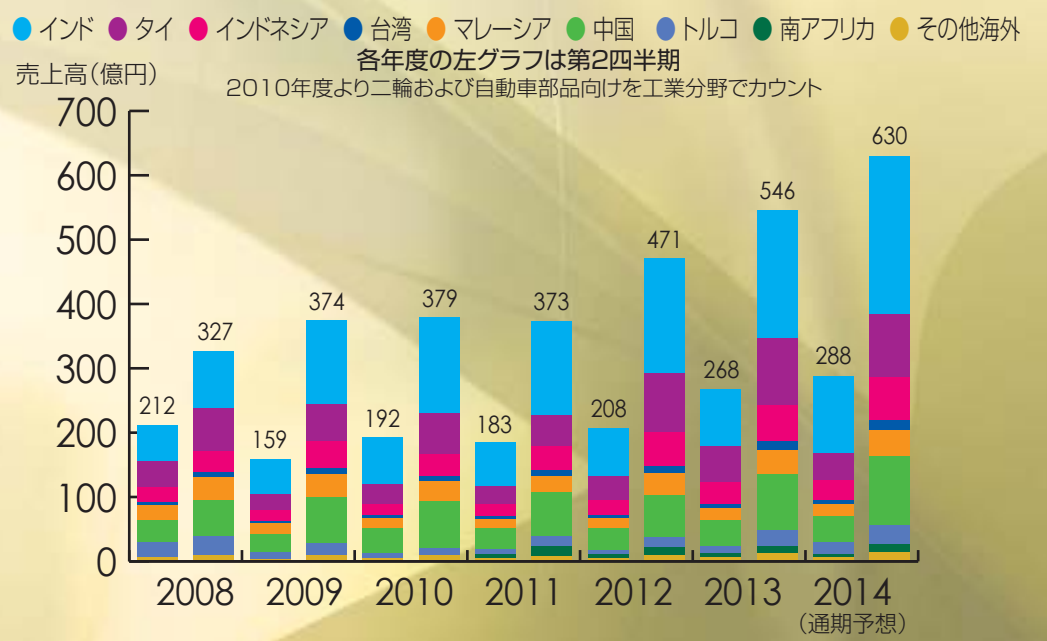
連結売上高(補修用塗料を除く)



### 海外自動車分野(補修用を除く)

- インドは、主要顧客の自動車生産の増加により前年比増収
- インドネシアは、自動車生産の増加により現地通貨ベースでは伸長も、為替換算の影響を受け前年比減収
- タイは、政情不安の影響を受け前年比減収
- ▷ タイについては、引き続き政情不安の影響を受け、需要低迷が長引くと見込む
- ▷ タイ以外は、引き続き自動車生産の増加による需要拡大を見込む
- ▷ 一部地域で供給のはじまった欧米自動車メーカーへの参入・拡大を更に加速させる

連結売上高(補修用塗料を除く)



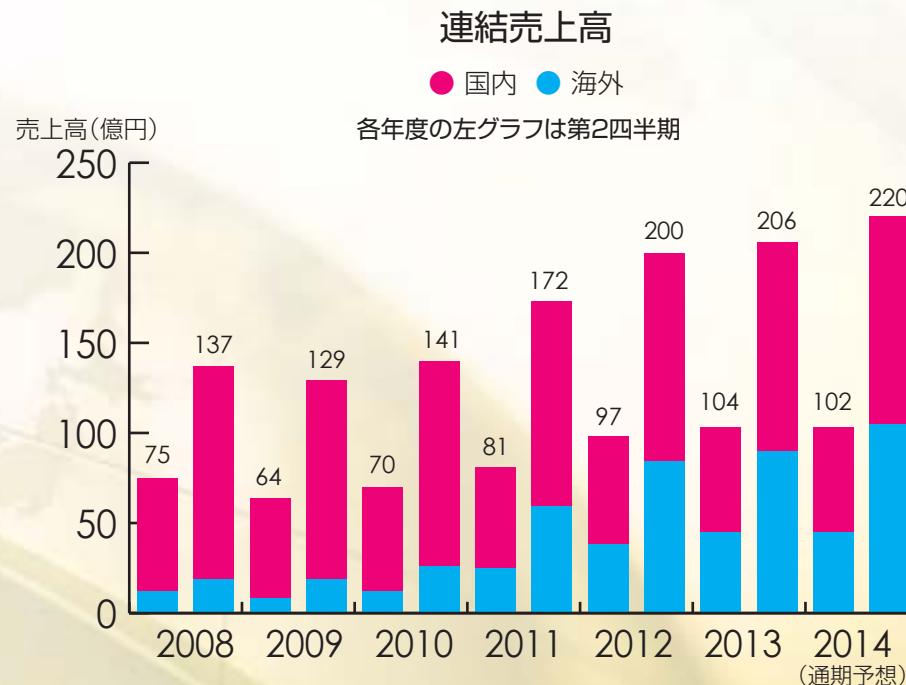
## 自動車分野(補修用)

### ■ 国内

- 消費税増税後の影響により需要低迷も、環境配慮型塗料の展開などにより拡販促進

### ■ 海外

- アフリカは、経済成長は低水準ながらも需要は拡大し、前年比増収
- ▷ 新興国での参入・展開を目指す



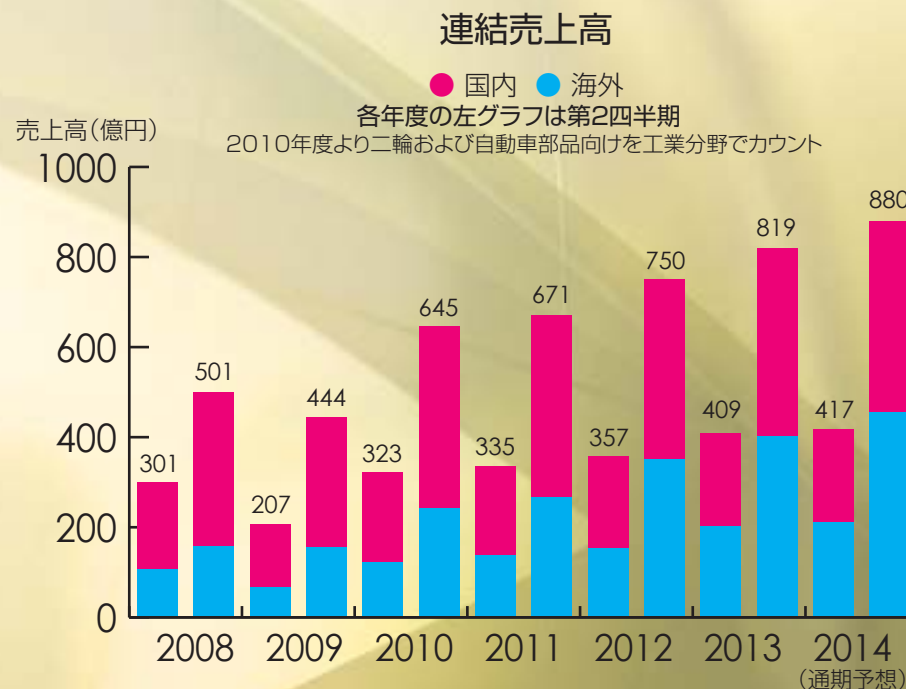
## 工業分野

### ■ 国内

- 建設機械向け等が減少したものの、自動車生産の増加により自動車部品向けは増加し、前年比微増収
- ▷ 顧客ニーズに対応した市場競争力の高い製品を供給していくことによりシェア拡大を目指す

### ■ 海外

- 中国で粉体塗料製造・販売会社を設立
- ▷ 海外シフトする日系メーカーの需要獲得に加え、新たな顧客の需要獲得を目指す



## 建築分野

### ■ 国内

- 消費税増税後の影響により需要が低迷し、前年比減収
- ▷ 市場ニーズに対応した製品の市場投入・拡販を展開し、売上拡大を目指す

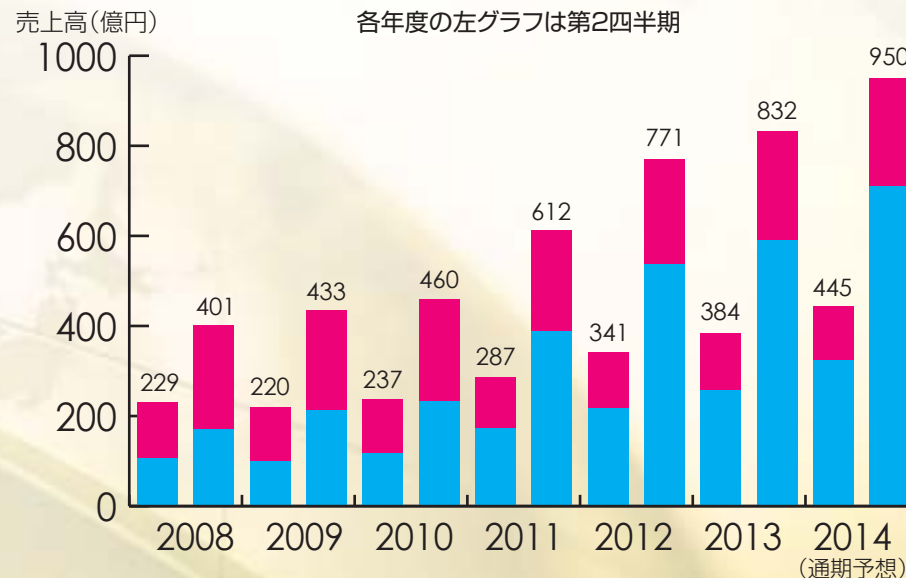
### ■ 海外

- インドは、経済成長の大幅回復に伴い、大きく前年比増収
- アフリカは、経済成長は低水準ながらも持続し増収が続く
- ▷ アフリカは、年度後半の需要期にかけ売上拡大を見込む
- ▷ インド、アフリカ、マレーシア、インドネシアなど、展開地域での需要は拡大継続を見込む

### 連結売上高

● 国内 ● 海外

各年度の左グラフは第2四半期



## 船舶鉄構分野

### ■ 国内

- 船舶分野は、市場の回復もあり前年比増収
- 防食分野は、市況低迷により前年比微減収
- ▷ 国土強靱化計画、東京オリンピック開催などに向けた投資需要の獲得を目指す

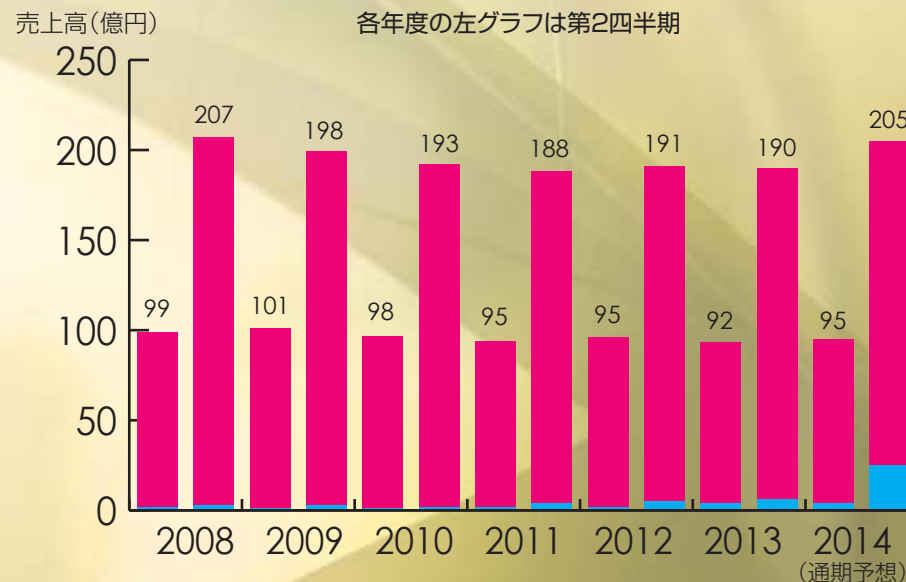
### ■ 海外

- ▷ マレーシアで防食塗料事業会社の株式を取得
- ▷ 中国での防食塗料の事業展開を加速させる
- ▷ 新興国でのインフラ整備に伴う防食塗料での参入・展開を目指す

### 連結売上高

● 国内 ● 海外

各年度の左グラフは第2四半期

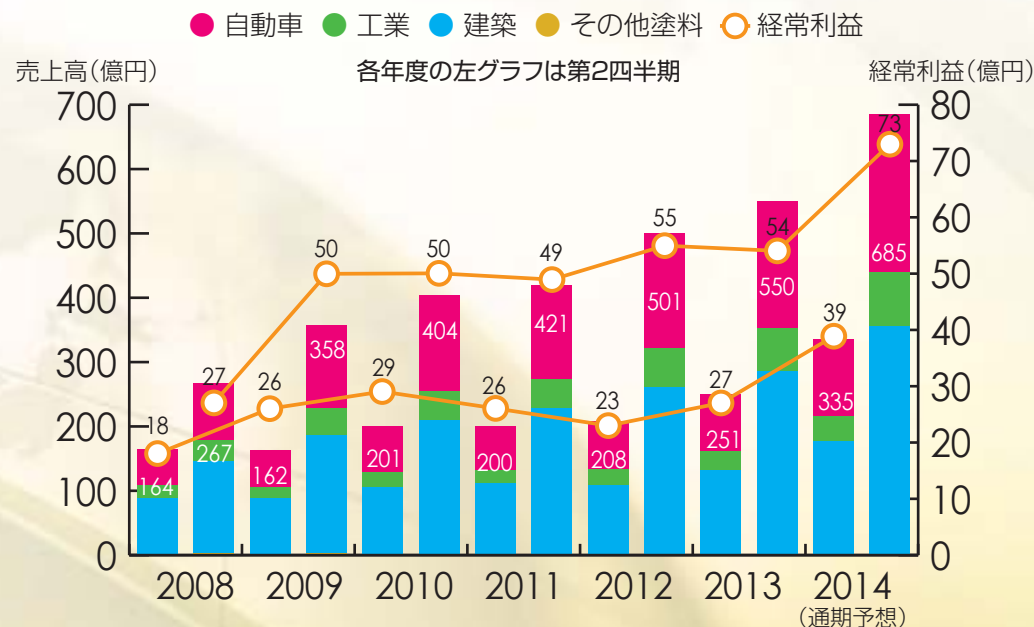




## インド・カンサイネロラックペイント(KNPI)社

- 自動車分野は主要顧客の自動車生産増加により売上が伸長
- 建築分野は、経済成長の回復により需要の拡大が続く
- ▷ 今後も、自動車、建築分野とも需要拡大を見込む
- ▷ 引き続き需要拡大に対応する生産体制の整備を計画

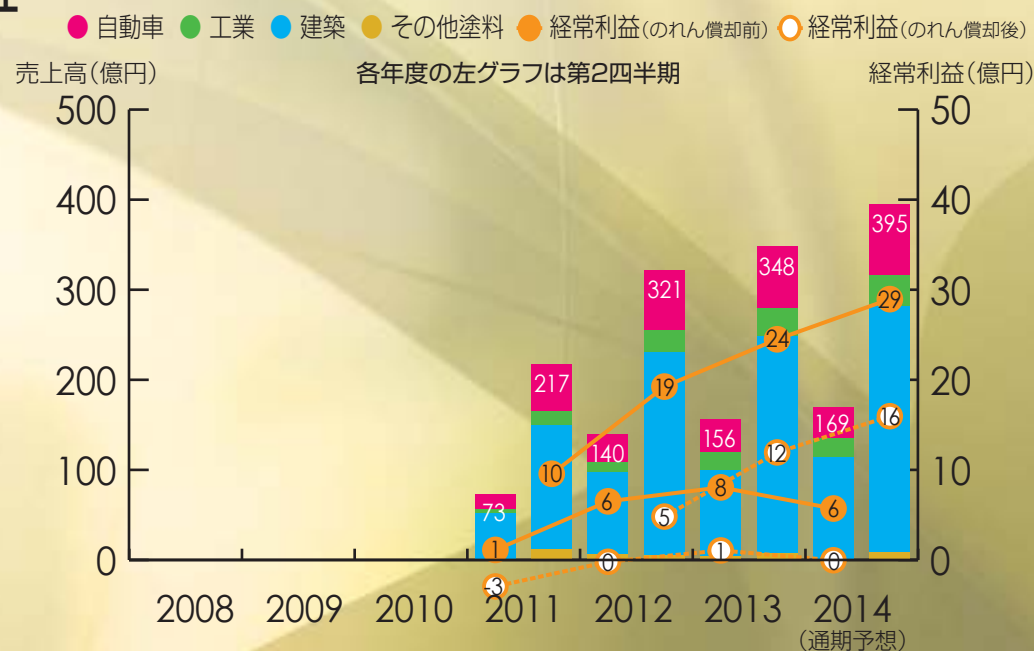
インド・KNPI社の業績推移と予想



## 南アフリカ・カンサイ・プラスコン・アフリカ(KPAL)社

- 南アフリカ経済が低調に推移するなか、販売活動の促進などにより需要は拡大し前年比増収
- 2013年7月に買収したジンバブエ・アストラインダストリーズ社の業績もフル寄与
- 事業拡大に向けた販売促進費用の積極投入等により前年比減益
- ▷ 年度後半に建築分野の需要期到来、販売促進費用の積極投入等により売上拡大を見込む
- ▷ 中長期的には、未展開地域・国への市場参入を図り、アフリカ経済の成長に伴う業績拡大を見込む

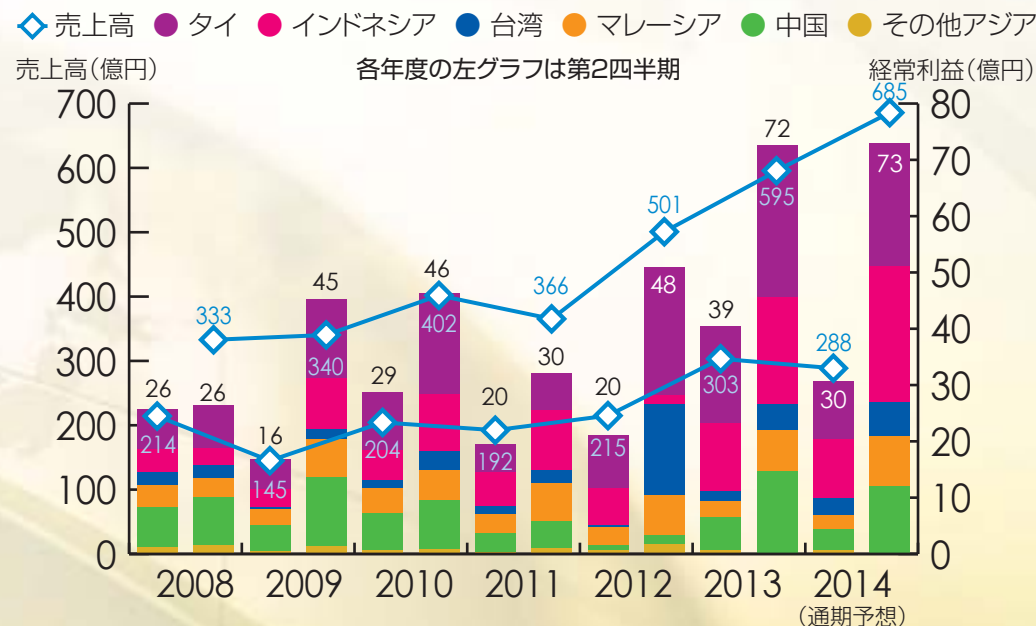
南アフリカ・KPAL社の業績推移と予想



## アジア連結子会社

- タイは、昨年度後半からの政情不安等により需要低迷が続き前年比減益
- インドネシアは、自動車生産台数増加および内需が堅調に推移したものの、為替換算影響が大きく前年比減益
- 中国は、自動車分野での主要顧客向けが伸び悩んだことなどにより前年比減益
- ▷ 各国とも経済成長は鈍化してもなお伸長は続き需要の拡大継続を見込む

アジア連結子会社の業績推移と予想



## 欧米連結子会社

- トルコは、自動車分野での既存顧客の需要拡大に加え、新規顧客獲得もあり売上が伸長し前年比増益
- ▷ 自動車分野での売上伸長等により前年比増益を見込む

欧米連結子会社の業績推移と予想



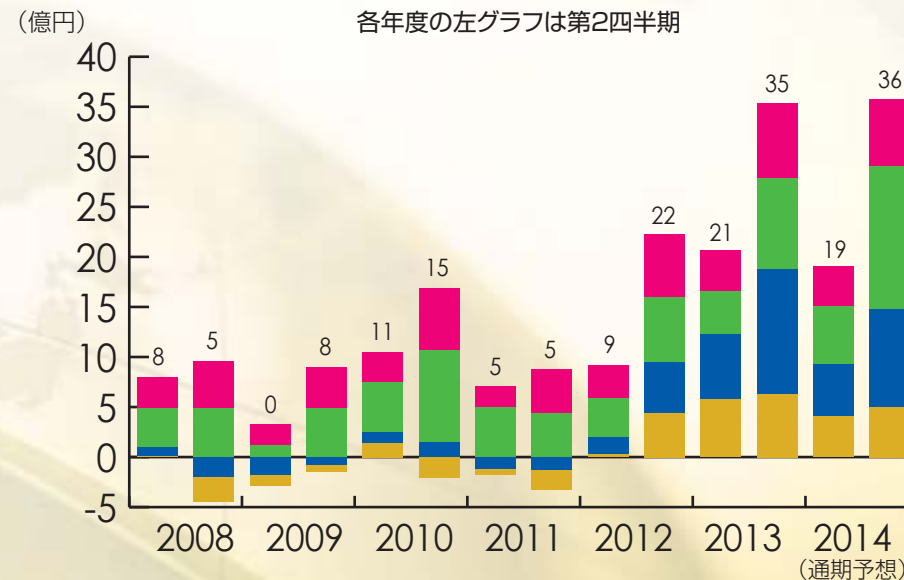
## 持分法利益

- 国内は消費税増税の反動が懸念されたものの、安定的に推移し前年比横ばい
- 中国は自動車生産増加などにより前年比増益
- 欧米は、北米での自動車生産は堅調もわずかに前年比減益
- ▷ 中国の自動車事業の伸長等により前年比増益を見込む

持分法利益(単純合算)

● 国内 ● 中国 ● 欧米 ● その他

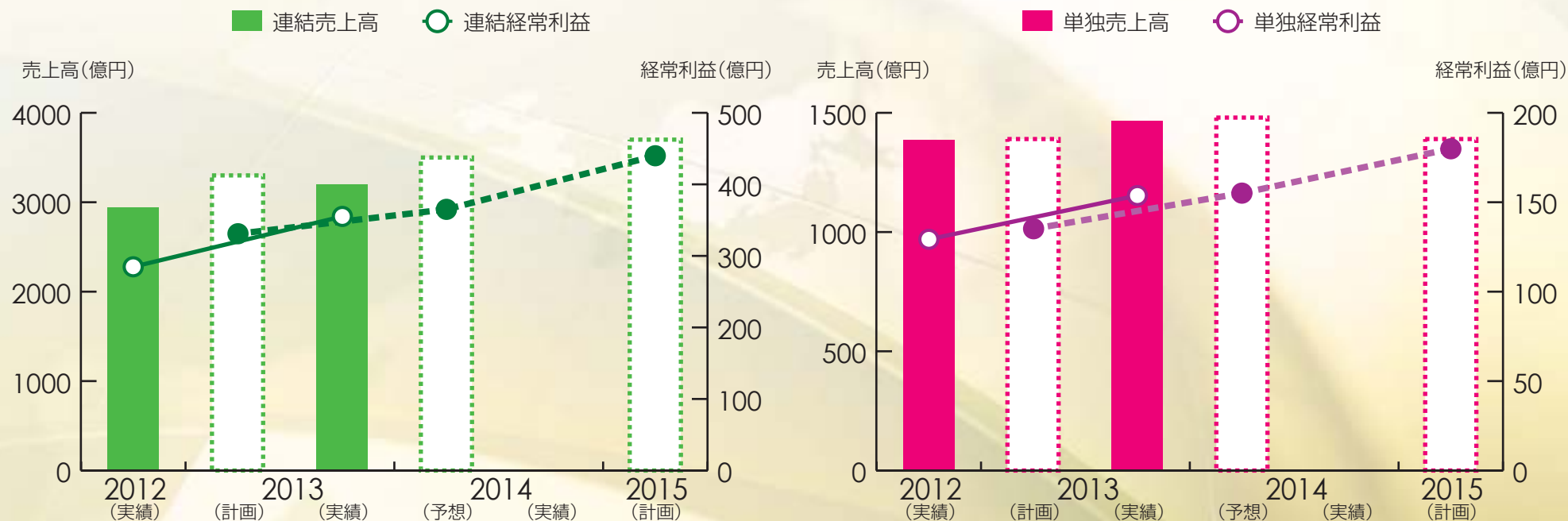
各年度の左グラフは第2四半期



【2013年度実績比】

<p>売上高</p>	<p>【国内】 年度前半は消費税増税後の反動減や天候不順等の影響により建築分野などの需要は落ち込んだものの、自動車生産台数は堅調に推移。年度後半も自動車生産台数が堅調に推移し、通年では、前年比ほぼ横ばいを想定。</p> <p>【海外】 地域によっては、政情不安の影響等に伴う一時的な需要停滞はあるものの、引き続き新興国を中心に需要は拡大し、増収を想定。特にインドの需要の拡大は強く、増収の牽引役となる。</p>
<p>原価・経費</p>	<p>原材料価格は、年度後半にかけ緩やかな下落を想定。引続きコスト低減活動を推進し、収益性向上を目指す。特に国内においては、年度後半でのコスト低減の取り組みを加速させる。</p>
<p>経常利益</p>	<p>前年比10億円の増益                  単独+1億円、国内連結▲9億円、海外連結+25億円                  持分法投資損益+1億円、受取配当等の相殺他▲8億円</p>

2014年度の連結業績は、利益計画を下方修正したが、国内におけるコスト低減活動の取り組みを加速させることで、14中計最終年度の当初計画は変更せず達成を目指す。



■ 連結

	2012	2013		2014	2015
	実績	計画	実績	予想	計画
売上高	2,940	3,300	3,204	3,500	3,700
経常利益	283	330	354	365	440

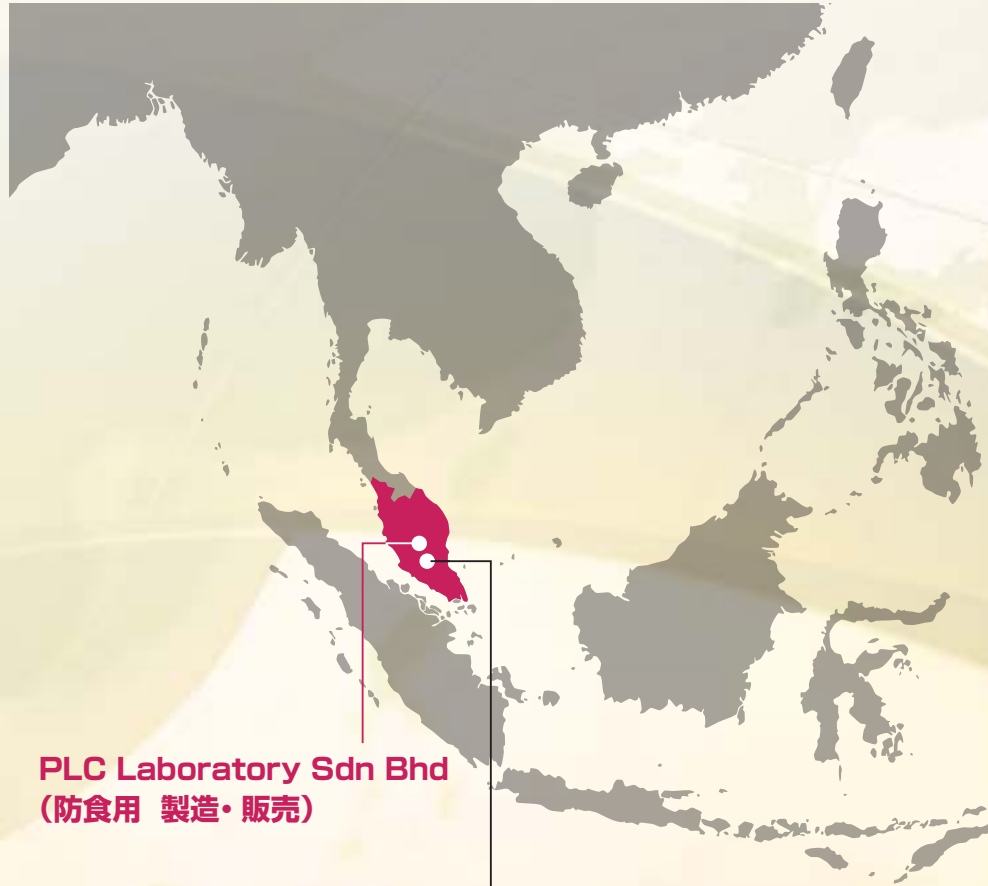
■ 単独

	2012	2013		2014	2015
	実績	計画	実績	予想	計画
売上高	1,386	1,390	1,468	1,480	1,390
経常利益	130	135	154	155	180



重点施策	内容	これまでの進捗状況など
グローバル化の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新興国を中心とする海外事業の拡大</li> <li>② 未参入地域・分野での事業展開</li> <li>③ 市場ニーズへの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ジンバブエ・アストラインダストリーズ社の株式取得</li> <li>○ メキシコ DNT KANSAI メキシカーナ社設立、営業開始</li> <li>○ マレーシア PLCラボラトリー社の株式取得</li> <li>○ 中国 肇慶関西聖聯粉末塗料科技社設立、営業開始</li> <li>○ 需要増に対応する生産体制の整備</li> </ul>
収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 海外は事業規模拡大と効率向上による利益拡大</li> <li>② 国内はトータルコストの低減と競争力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シェアアップ、非日系顧客への事業展開に向けた取り組みを推進</li> <li>○ マンチェスター・ユナイテッドを活用したプロモーション活動推進</li> <li>○ 国内事業の抜本的収益改善を行なうプロジェクトを立ち上げ</li> <li>○ 国内拠点体制の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 東地区物流・カラーセンター機能の集約拠点の操業開始</li> <li>▷ 尼崎事業所の再整備を実施中 (関西地区の物流・カラーセンター集約拠点を尼崎事業所内に設立)</li> <li>▷ 福利厚生施設土地を売却</li> </ul> </li> </ul>
グループ経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 経営資源の共有化と有効活用によるシナジー最大化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術、調達、製造、マーケティングなどのグローバル経営リソースを共有化するワークチームを立ち上げ</li> <li>○ グローバル化に対応する体制構築を推進中</li> </ul>

## マレーシア・PLCラボラトリー社(現Kansai PLC社)の株式取得 ～アセアン地区における防食市場での事業体制強化～



**PLC Laboratory Sdn Bhd**  
(防食用 製造・販売)

SIME KANSAI PAINT Sdn Bhd  
(自動車・工業用 製造・販売)

KANSAI COATINGS MALAYSIA Sdn Bhd  
(建築・工業用 製造・販売)

### (1) 対象会社概要

- 業績規模  
2013年 売上高 約3億円、営業利益 約0.5億円
- 防食用塗料を主軸とする現地塗料メーカー。  
特に、国営企業向けをはじめとする石油・ガス  
関連施設分野向けで多くの塗料供給実績
- 国営企業向けの認証を取得した製品群のほか、  
販売ネットワーク、経験豊かな人材を有す
- 自己資本比率が高く、健全な財務体質

### (2) 買収概要、ねらいほか

- 当社子会社(当社100%出資) による株式取得
- 出資比率 73%(連結子会社化)
- 関西ペイントのブランド力・信用力、PLC社の  
優良な製品群等の活用による大型プロジェクト  
案件への採用拡大
- 当社子会社の製造拠点の活用

## 中国 粉体塗料製造・販売合併会社設立 ～中国における粉体塗料事業への本格参入・展開へ～

### (1) 会社概要

- 会社名 肇慶関西聖聯粉末塗料科技有限公司
- 所在地 中国 広東省肇慶市
- 資本金 500万 US\$ (約5億円)
- 出資比率 53%(連結子会社)
- 販売目標 2016年度に10億円

### (2) ねらいほか

- 市場規模が大きい中国の建材用途向け、特に成長が著しい広東省での市場参入、将来的には、中国広域への事業拡大を目指す。
- 合併パートナーは、中国粉体塗料市場で、市場競争力の高い製品・技術力を保有し、多くの販売実績を持つ中国最大手グループ。
- 当社のグローバルなブランド力・信用力と合併パートナーの製品開発力や営業力を有効活用することで、日系ユーザーからローカルユーザーまで幅広い事業展開・拡大を目指す。





この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。